



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日
東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,165	△6.7	474	△39.4	490	△36.5	331	△36.7
2019年3月期第3四半期	13,033	△4.7	782	△14.7	771	△15.8	523	△16.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 339百万円 (△45.6%) 2019年3月期第3四半期 623百万円 (8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	68 03	—
2019年3月期第3四半期	107 51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,999	6,618	38.9
2019年3月期	16,829	6,376	37.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,618百万円 2019年3月期 6,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
2020年3月期	—	10 00	—		
2020年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	2.6	820	0.8	820	1.1	560	1.4	114 97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	5,155,600株	2019年3月期	5,155,600株
2020年3月期3Q	284,714株	2019年3月期	284,714株
2020年3月期3Q	4,870,886株	2019年3月期3Q	4,870,886株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが見られたものの、緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の通商政策による貿易摩擦の拡大懸念やEU諸国の政治動向および消費税増税後の駆け込み需要の反動減が長引く可能性等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境の下、当社グループは、中期経営計画2年目の年度方針として「ユーザーインの発想によるビジネスモデルの構築」を掲げ、自社開発商品の拡販を主体に売上高の増嵩と収益力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、121億65百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は4億74百万円（前年同期比39.4%減）、経常利益は4億90百万円（前年同期比36.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億31百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

当社グループの報告セグメントの第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ディスカウント事業」としていた報告セグメントの名称を「店舗販売事業」に変更しております。当該変更は名称のみの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、新規顧客獲得および既存顧客のリピート受注率向上のための販売促進策として、マス施策のテレビCM・新聞広告の拡充、WEB関連ではアフィリエイト広告・SNS広告の拡充、1 to 1のメール・LINE会員向けクーポン配布等各種キャンペーンおよびクリアランスセールを継続的に実施いたしました。また、靴を主体に新商品の投入数を増やすなど商品力強化にも取り組みましたが、受注のけん引役を果たすべき販売促進商品が伸び悩んだことに加え、消費税増税後の駆け込み需要の反動および暖冬による冬物商材の販売不振等により、第3四半期の受注に苦戦いたしました。

この結果、売上高は63億20百万円（前年同期比7.0%減）となりました。利益面は、売上総利益率は前年同期を維持しましたが、減収および配送費高騰を主因として販管費率が上昇し、セグメント利益は6億98百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、お客様に「日常のわくわく感」を提供すべく、市場拡大トレンドにあるスニーカーの品ぞろえ拡充、大商談会による特価商品の仕入強化等を軸とした靴の販売強化と、青果大市やイベントの定例開催による集客力向上に取り組みました。また、靴専門店出店の商圈調査を兼ねた出張販売を44ヶ所・延べ330日開催し、自社開発商品の販売拡大にも取り組みました。しかしながら、第3四半期において駆け込み需要の反動および暖冬によるブーツ・防寒長靴等の冬物商材の販売不振等により、前年同期の売上高を確保するに至りませんでした。

この結果、売上高は55億70百万円（前年同期比5.2%減）となりました。利益面は、減収に加え自社開発商品の売上構成比率低下による売上総利益の減少を主因に、セグメント利益は62百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、10月にWEBサイトを立ち上げ、専門店・ワークショップ向けの「大卸し」および新規取引先向けの販売は前年同期を上回りましたが、大口取引先への販売が第3四半期についても伸び悩んだ結果、売上高は2億75百万円（前年同期比23.6%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比66.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億86百万円増加し、108億73百万円となりました。これは、現金及び預金が8億64百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億16百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少し、61億26百万円となりました。これは、建物及び構築物が43百万円、投資その他の資産が39百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加し、169億99百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億37百万円減少し、40億87百万円となりました。これは、未払法人税等が74百万円、賞与引当金が49百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加し、62億94百万円となりました。これは、長期借入金が3億2百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、103億81百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億41百万円増加し、66億18百万円となりました。これは、利益剰余金が2億33百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し、38.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ3億63百万円増加し、25億67百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億28百万円(前年同四半期は7億1百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億90百万円の計上、売上債権の減少額4億16百万円、減価償却費2億20百万円の計上、法人税等の支払額1億98百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億49百万円(前年同四半期は68百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出7億円、有形固定資産の取得による支出1億39百万円、定期預金の払戻による収入3億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億88百万円(前年同四半期は1億29百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入22億50百万円、長期借入金の返済による支出19億25百万円、配当金の支払額97百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2019年11月6日の決算短信にて発表しました2020年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2020年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,939,393	6,803,454
受取手形及び売掛金	1,053,215	636,617
商品	3,292,763	3,238,777
未着商品	67,742	75,042
貯蔵品	13,640	16,658
その他	235,782	115,881
貸倒引当金	△16,443	△13,400
流動資産合計	10,586,094	10,873,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,540,037	2,496,572
土地	3,157,566	3,157,566
その他（純額）	167,632	159,594
有形固定資産合計	5,865,236	5,813,733
無形固定資産	126,800	101,575
投資その他の資産	251,370	211,501
固定資産合計	6,243,408	6,126,810
資産合計	16,829,502	16,999,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	905,943	887,907
1年内返済予定の長期借入金	2,323,514	2,345,189
未払法人税等	94,267	19,587
賞与引当金	117,904	68,691
役員賞与引当金	-	9,750
ポイント引当金	32,024	33,943
その他	951,320	722,005
流動負債合計	4,424,974	4,087,074
固定負債		
長期借入金	5,720,036	6,022,469
環境対策引当金	13,568	-
退職給付に係る負債	163,842	163,320
資産除去債務	33,233	33,685
その他	97,101	74,778
固定負債合計	6,027,781	6,294,253
負債合計	10,452,755	10,381,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,874,240	5,108,185
自己株式	△151,110	△151,110
株主資本合計	6,322,571	6,556,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,277	1,520
繰延ヘッジ損益	29,673	42,709
為替換算調整勘定	18,223	17,767
その他の包括利益累計額合計	54,174	61,997
純資産合計	6,376,746	6,618,514
負債純資産合計	16,829,502	16,999,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	13,033,206	12,165,936
売上原価	7,077,033	6,661,650
売上総利益	5,956,173	5,504,285
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,607,402	1,530,804
貸倒引当金繰入額	15,763	8,765
ポイント引当金繰入額	36,028	33,943
給料手当及び賞与	1,390,801	1,365,947
賞与引当金繰入額	75,981	68,691
その他	2,047,422	2,022,045
販売費及び一般管理費合計	5,173,398	5,030,197
営業利益	782,774	474,088
営業外収益		
受取利息	4,372	4,166
受取配当金	1,620	1,883
デリバティブ評価益	21,307	23,258
受取補償金	24,962	16,557
その他	18,651	27,473
営業外収益合計	70,914	73,339
営業外費用		
支払利息	60,343	53,714
為替差損	20,808	1,784
その他	572	1,491
営業外費用合計	81,725	56,991
経常利益	771,964	490,435
税金等調整前四半期純利益	771,964	490,435
法人税、住民税及び事業税	218,772	133,142
法人税等調整額	29,520	25,929
法人税等合計	248,292	159,072
四半期純利益	523,671	331,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	523,671	331,363

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	523,671	331,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,790	△4,756
繰延ヘッジ損益	107,390	13,035
為替換算調整勘定	△678	△455
その他の包括利益合計	99,922	7,823
四半期包括利益	623,593	339,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623,593	339,186
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	771,964	490,435
減価償却費	225,712	220,135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,349	△3,042
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,448	△49,213
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,863	9,750
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,919	1,918
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,147	△521
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	-	△13,568
受取利息及び受取配当金	△5,993	△6,050
支払利息	60,343	53,714
為替差損益 (△は益)	△390	2,874
売上債権の増減額 (△は増加)	371,874	416,082
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,486	43,618
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,768	△16,065
その他	△264,032	△175,979
小計	1,118,593	974,090
利息及び配当金の受取額	6,449	6,427
利息の支払額	△59,764	△53,578
法人税等の支払額	△363,501	△198,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,777	728,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,401,800	△700,900
定期預金の払戻による収入	2,400,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△33,889	△139,304
無形固定資産の取得による支出	△32,485	△8,912
投資有価証券の取得による支出	△396	△450
その他	△117	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,689	△549,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,900,000	2,250,000
長期借入金の返済による支出	△1,882,101	△1,925,892
配当金の支払額	△97,217	△97,202
その他	△49,728	△38,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,047	188,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△490	△4,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503,550	363,161
現金及び現金同等物の期首残高	2,586,099	2,203,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,089,650	2,567,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,794,220	5,878,712	360,274	13,033,206	—	13,033,206
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,794,220	5,878,712	360,274	13,033,206	—	13,033,206
セグメント利益	936,922	98,668	41,577	1,077,167	△294,392	782,774

(注) 1 セグメント利益の調整額△294,392千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,320,489	5,570,297	275,149	12,165,936	—	12,165,936
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,320,489	5,570,297	275,149	12,165,936	—	12,165,936
セグメント利益	698,331	62,729	13,993	775,054	△300,965	474,088

(注) 1 セグメント利益の調整額△300,965千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「ディスカウント事業」としていた報告セグメントの名称を「店舗販売事業」に変更しております。当該変更は名称のみの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。